



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 キョウデン
 コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 鐘畿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 周一

TEL 045-929-0501

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,300	3.4	1,228	26.3	1,319	157.0	911	219.1
29年3月期第2四半期	26,410	5.8	972	10.0	513	0.1	285	18.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 880百万円 (353.3%) 29年3月期第2四半期 194百万円 (55.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	18.34	
29年3月期第2四半期	5.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	41,906	13,213	31.4
29年3月期	40,227	12,581	31.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 13,173百万円 29年3月期 12,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00 ~ 5.00	3.00 ~ 5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	2.1	2,300	11.4	2,100	10.8	1,500	2.2	30.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	52,279,051 株	29年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,592,810 株	29年3月期	2,592,690 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	49,686,295 株	29年3月期2Q	49,686,460 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では大型ハリケーン襲来の影響により、一時的に鉱工業生産の減少や個人消費の落ち込みがあったものの、雇用環境などは引き続き良好に推移しております。また、欧州経済においても企業部門が製造業による回復の牽引・個人消費も堅調に推移しておりますが、同時に諸国の政治リスクの後退やユーロ圏景気の堅調さなどから今春以降は継続的なユーロ高基調となっており、今後は景気の減速感が強まる懸念があります。加えて中国では、当局が過熱する景気を沈静化させるべく抑制的な政策をうってきたことにより景気の減速が表れてきており、住宅市場の過熱やシャドーバンキングなどの長期的なリスクが継続するうちは、今後もこの状況が続く見通しとなっております。

一方、わが国経済におきましては、企業の収益環境は引き続き改善傾向で、雇用所得・設備投資も緩やかな回復が続いておりますが、個人消費の回復力が脆弱にとどまっていることなどから、景気上向きに弾みがつきにくい状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、電子事業におけるプリント配線基板関連分野の受注が国内外において好調だったことや、工業材料事業も硝子長繊維原料及び混和材関連の分野において好調であったことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.4%増の27,300百万円、営業利益は前年同期比26.3%増の1,228百万円、経常利益は前年同期比157.0%増の1,319百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比219.1%増の911百万円の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電子事業）

電子事業におきましては、新規事業関連の先行コストの発生やプリント配線基板の基材となる銅張積層板の供給ひっ迫によるコストアップが懸念されましたが、国内においては、受注が全般的に好調推移し、各工場ともほぼフル稼働状態となっております。また海外においても、タイ工場が期初から業績を堅調に推移させたことから、売上高は前年同期比1.5%増の21,571百万円、セグメント利益は前年同期比10.3%増の653百万円となりました。

（工業材料事業）

工業材料事業におきましては、国内外景気の緩やかな回復基調の持続を背景に、主力製品である硝子長繊維原料と耐火物に加え原料仕入販売の売上が前年同期を上回る水準で推移したほか、公共事業・建設関連の需要の高まりにより混和材の販売が好調でした。一方で原料費も含めた製造原価の削減や生産効率化に努めたことから、売上高は前年同期比10.9%増の5,729百万円、セグメント利益は前年同期比51.6%増の574百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は41,906百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,679百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金の減少764百万円、受取手形及び売掛金の増加1,325百万円、原材料及び貯蔵品の増加355百万円及び投資有価証券の増加616百万円であります。

負債の残高は28,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,047百万円増加しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加401百万円及び借入金金の増加564百万円であります。

純資産の残高は13,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ632百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金の増加662百万円及び為替換算調整勘定の減少64百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,371百万円（前連結会計年度末は5,165百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は562百万円（前第2四半期連結累計期間は2,186百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,319百万円、減価償却費882百万円、売上債権の増加額1,275百万円及び法人税等の支払額275百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は1,438百万円（前第2四半期連結累計期間は368百万円の使用）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出918百万円及び投資有価証券の取得による支出562百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は49百万円（前第2四半期連結累計期間は4,568百万円の使用）となりました。これは主に、借入金の純増加額564百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出493百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,165	4,401
受取手形及び売掛金	14,446	15,771
商品及び製品	1,565	1,406
仕掛品	1,586	1,877
原材料及び貯蔵品	2,420	2,775
その他	854	822
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	26,031	27,048
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,014	4,019
その他（純額）	8,351	8,426
有形固定資産合計	12,365	12,446
無形固定資産	278	267
投資その他の資産		
その他	1,714	2,304
貸倒引当金	△162	△160
投資その他の資産合計	1,551	2,144
固定資産合計	14,195	14,858
資産合計	40,227	41,906

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,766	7,168
短期借入金	5,763	6,729
1年内償還予定の社債	678	678
1年内返済予定の長期借入金	2,169	2,021
未払法人税等	347	350
賞与引当金	657	709
その他	3,506	3,568
流動負債合計	19,889	21,225
固定負債		
社債	710	946
長期借入金	2,555	2,302
役員退職慰労引当金	8	8
その他の引当金	275	185
退職給付に係る負債	2,437	2,534
その他	1,769	1,490
固定負債合計	7,756	7,466
負債合計	27,645	28,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	5,241	5,904
自己株式	△491	△491
株主資本合計	13,282	13,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	102
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	△807	△872
退職給付に係る調整累計額	2	1
その他の包括利益累計額合計	△736	△771
非支配株主持分	35	40
純資産合計	12,581	13,213
負債純資産合計	40,227	41,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	26,410	27,300
売上原価	22,601	23,083
売上総利益	3,809	4,217
販売費及び一般管理費	2,836	2,988
営業利益	972	1,228
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	1
受取賃貸料	19	20
持分法による投資利益	—	16
為替差益	—	153
その他	41	26
営業外収益合計	65	219
営業外費用		
支払利息	126	74
持分法による投資損失	0	—
為替差損	328	—
その他	69	55
営業外費用合計	525	129
経常利益	513	1,319
特別損失		
投資有価証券評価損	40	—
特別損失合計	40	—
税金等調整前四半期純利益	472	1,319
法人税、住民税及び事業税	135	311
法人税等調整額	47	91
法人税等合計	183	402
四半期純利益	288	916
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	285	911

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	288	916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	29
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	△114	△59
退職給付に係る調整額	41	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△4
その他の包括利益合計	△94	△35
四半期包括利益	194	880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190	875
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	472	1,319
減価償却費	834	882
のれん償却額	21	21
賞与引当金の増減額（△は減少）	172	51
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9	△1
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	103	92
受取利息及び受取配当金	△4	△2
支払利息	126	74
固定資産売却損益（△は益）	△5	△0
持分法による投資損益（△は益）	0	△16
売上債権の増減額（△は増加）	△907	△1,275
たな卸資産の増減額（△は増加）	395	△468
仕入債務の増減額（△は減少）	655	367
未払金の増減額（△は減少）	87	150
その他	619	△284
小計	2,562	908
利息及び配当金の受取額	4	2
利息の支払額	△133	△73
法人税等の支払額	△246	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,186	562
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△564	△918
固定資産の売却による収入	206	72
投資有価証券の取得による支出	△2	△562
その他	△7	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368	△1,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△822	966
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△2,777	△1,201
社債の発行による収入	—	591
社債の償還による支出	△434	△364
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△483	△493
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△51	△249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,568	49
現金及び現金同等物に係る換算差額	△394	32
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,145	△794
現金及び現金同等物の期首残高	8,126	5,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,981	4,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	21,245	5,164	26,410	—	26,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,245	5,164	26,410	—	26,410
セグメント利益	593	379	972	0	972

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	21,571	5,729	27,300	—	27,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,571	5,729	27,300	—	27,300
セグメント利益	653	574	1,228	△0	1,228

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。